

ウニの身の色を左右する要因について

ね ら い：	ウニの商品価値は「身の色」によって左右される。商品価値の高いウニを生産するため、身の色に影響を与える要因を明らかにする。
成果の特徴：	ウニの身の色は、従来、餌料環境に影響されることが知られていたが、年齢にも影響され、高齢になると色が悪くなる傾向があることを明らかにした。
成果の活用面：	商品価値の高いウニを生産するため、高齢のウニを漁場に残さない、効率的な漁獲を提案している。

〔 具体的データ 〕

身の色に影響を与える要因を明らかにするため、吉浜湾内の 2 つの漁場（身の色が良い漁場、悪い漁場）から採集した漁獲対象サイズのキタムラサキウニ（以下ウニと記す）について、身の色と年齢および殻径との関係について検討した。その結果、身の色が悪い漁場では、身の色が良い漁場と比べて高齢の個体の占める割合が高いことが明らかとなった。また、身の色が悪い漁場は、成長が悪く、餌不足の状態であった。

年齢が身の色に与える影響を明らかにするため、水槽で十分に餌を与えて飼育したウニの身の色について、色彩色差計を用いて調べた。その結果、ウニは、十分に餌を与えた場合でも、高齢になると、色の明るさを示す L 値が低い（色が悪い）個体が出現することが明らかとなった。

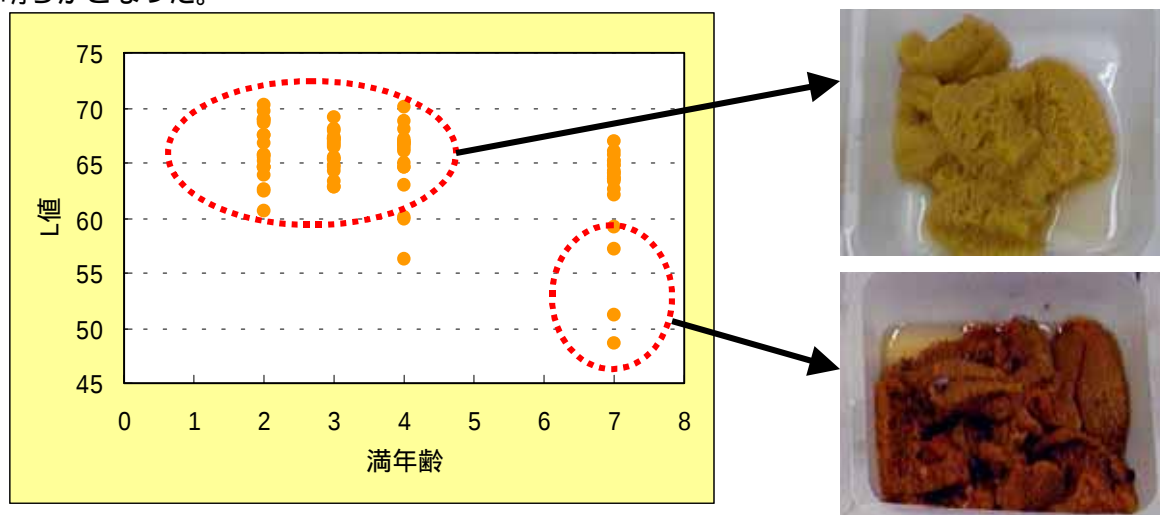


図 水槽で飼育したウニの年齢と身の色（L 値）の関係

担当者	増養殖部 主任専門研究員 遠藤 敬 0193-26-7917 FAX0193-26-7920
連絡先	〒026-0001 岩手県釜石市大字平田第3地割75番3号
	ホームページ http://www.pref.iwate.jp/~hp5507/